



特集 / 県政この1年

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

ふるさとみてる記 福光町

シリーズ:とやまアラカルト①「小説」と「とやま」

県広報

とやま

1989 No.251 12

# そして、『少年時代』

ぼくが富山をはなれたのは、昭和29年だから、もう30年以上もたった。ぼくが住んでいたのは高岡市の駅前、桜馬場通りだった。

今はもう広い舗装道路になってしまったが、ぼくが住んでいた頃は道の両側に土手があり、そこにはすばらしい桜並木があった。

春になると満開の桜がうついて、毎日が祭りのような華やかさだった。夜になるとぼんぼりに灯がともされ、桜並木は一段とあてやわになった。高岡高校までから、ぼくは富山新聞社へ勤めたが、はじめて月給をもらった日、母にはやく月給袋を見せようと土手を走って帰り、桜の木の下に足をひっかけ、大転倒した時の痛み、嬉しさを今でも憶えている。上京して何年かたち、漫画家になったぼくは資料として百科辞典を買った。

①の部分のところに、全国桜の名所の写真がのっていて、見ていくと高岡の桜馬場の写真があった。しかも、その写真は



戦後間もない頃の高岡古城公園の花見(「高岡開町370年、市制施行90周年記念写真集」より)

漫画家 藤子不二雄 A

偶然、ぼくの住んでいた家の前で撮られたものだった。その百科辞典は今でも持っている、人がくる度に「ぼく、ぼくの住んでいた家が、百科辞典ののっているんだ」と自慢しているのだ。

失ったもの、消えてしまったものの記憶は永遠に美しい、というが、ぼくは今、高岡に帰る度に、どうしてあの素晴らしい桜馬場がこんな殺風景なコンクリート道路になってしまったのか、と悲しむのだ。ぼくは、戦後の経済復興期に、高岡に限らず、全国の地方都市が、東京のこぎ都市になってしまった、独自性を失ったことを歎く。便利さ、カッコよさをひきかえに、もうと大切なものをなくしたのではないかな。ただ、幸い富山にはまだ富山にしかないものがまだ沢山残っている。ぼくは今、『少年時代』という富山を舞台にした映画を製作しているが、そのほけで県下のおちこちを廻り、(富山にはまだまだ美しいところがあるのだ)とあらためて愛郷心が高まった。古いものが、新しいものに変わるのは自然の法則だが、美しいものが、みにくいものに変わるのは、とりかえしがつかない。富山を美しく、発展させてほしい。



## 自然体で臨む美技

うま年に一層の飛躍を図る 牧野孝喜さん

「馬術を始めたのは、今から二十一年ほど前のこと。昔から馬は好きだったし、馬小屋で寝たこともありですよ。」と、牧野孝喜さん。東京オリンピックで見たヨーロッパの選手の馬術に憧れたという牧野さんは、今年の全日本選手権大会で第三位、また、昨年東京で開催されたアジア・オセアニアの強豪が集まったのサムソン国際馬場馬術大会で日本人初の優勝など県内だけでなく日本でも指折りの選手です。

「私の馬術は、ぶっつけ本番。馬の調子を見てとにかくやれるところまでやってみようというやり方でやっています。」

今年、直前まで馬がけがをしており、全然期待はしていなかったのが自然体が功を奏して予想外の第三位。

馬と一心同体でその優雅さ美しさを競う馬術。それだけに調教そして実技、馬に納得のいくようにやっているという牧野さんのやさしさがその強さの秘訣です。

「来年、ドイツへ馬を買いにいこうと思っています。そして、その馬を育ててバルセロナ五輪で活躍したいですね。また、馬術は、年齢にあまり関係のない競技だけに二〇〇〇年の国体まではまだまだ現役で優勝を狙いますよ。」

これからの抱負を語ってくれる牧野さん。富山の馬術の牽引車としてこれからも頑張ってください。

# 富山県工業技術センター 機械電子研究所オープン

## 技術立県の中核施設



富山市高田で建設していた富山県工業技術センター機械電子研究所が十一月一日にオープンしました。

この研究所は、富山市飯野にあった工業技術センター富山研究所を移転新築したもので、鉄筋コンクリート造地上二階地下一階建て、延べ面積二千六百平方メートルの建物の中には、ハイテク、ハイタッチに関する最先端の研究機器が備えられています。ここでの主な研究内容は、新素材による電子部品の試作、コンピュータ応用システムの設計・開発などです。また、産学官の共同研究を推進するため、共同研究室を民間企業や大学の研究者等に利用開放しています。

建物構造は、周囲の環境を考慮して低層化するとともに、内部も明るく清潔で研究者の心を和ませるための配慮がなされています。

県では「活力ある産業づくり」を三大施策の一つにあげ、技術立県を目指しています。この機械電子研究所には、技術立県推進のための中核施設として大きな期待が寄せられています。



# 林業技術センター 試験場と普及センター完成

## 林業振興の拠点



立山町吉峰で建設が進められていた林業技術センター林業試験場と林業普及センターが十月三十一日に完成しました。

林業試験場は、鉄筋コンクリート二階建て延べ面積二千八百平方メートル。木の品種を分析するアイソザイム実験室、酸性雨等の影響を分析する土壌実験室、きのこ生理実験室、温室などがあり、バイオテクノロジーを応用した優良な品種の育成に取り組むための最新の施設や試験研究機器が備えつけてあります。

また、林業普及センターは、木造平屋建て延べ面積四百六十五平方メートルで、全体に木のぬくもりが感じられる建物。百人収容できる大・小二つの研修室や林業に関する実物見本・パネル展示のある展示コーナーなどがあります。

林業技術の研修や訓練の場に、また、木とのふれあい、情報提供の場にと新しい林業振興の拠点の誕生です。



# 第19回富山県青年・婦人の翼

10月12日~24日

大きく広がる友好の輪



ポートランド ホームステイの人とのさよならパーティ



ポートランド ウィリアムズハウスでの意見交換会



メキシコシティの中心にあるカテドラル



サン・アントニオの町並み

第十九回明日を拓く青年の翼、第九回豊かな郷土を拓く婦人の翼の一行、百三十四人が十二日間 にわたり、アメリカ、カナダ、メキシコを歴訪。アメリカ・オレゴン州との友好提携の架け橋となつたのはじめ、訪問各地で現地青年、婦人との友好を深めてきました。



メキシコのレストランにて



ポートランド ホームステイの人とのさよならパーティ

# 第6回特産王国フェスティバル



富山の特産品展覧会



有線丸



豊かな自然の恵み、磨き抜かれた伝統の技など、とやまの特産品を一堂に集めた「第六回特産王国フェスティバル」が十月十四、十五日の二日間、富山市のテクノホールで開催されました。

今回は県内の百十の業者が出展し、野菜や鮮魚民芸品をはじめ、各地で開発された特産品が展示即売され、たちまちのうちに売り切れた商品が出たほか、大漁汁やマツタケめしの味覚コーナーには長い行列ができるなど、大勢の主婦や家族連れで賑わいました。

また、会場には高さ八メートルの「たてもん」や花で作った「北前船」がシンボルとして飾られ、華やいた雰囲気の中、既婚者も参加できる特産女王コンテストやもちつき大会、きき酒大会なども行われました。

# 県政の一年

首都圏への求心力が日増しに強まるなか、「昭和」から「平成」という新しい時代を迎え、それぞれの地域が交流を深めながら、独自の個性を競いあい、特色ある地域づくりを進めていくことが重要な課題となっています。

富山県では、県民一人ひとりの心に幸せが満ちるような県づくりを進めるとともに、全国に誇り得る魅力ある顔づくりを進めるために各種の施策を展開してきました。

富山県民総合計画の「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三大政策に沿って一年の動きをふりかえってみましょう。

## 明日を拓く人づくり

### 健康づくり

「日本の健康県」をめざした県民ヘルスプランに基づき、県民総ぐるみの健康づくり運動を展開しました。がん対策については、がん対策推進本部を設置し、啓発活動の強化、検診車や診療機器の整備充実を図るなど東洋医学の推進を図ってきました。

スポーツ・レクリエーションの振興については、生涯学習スポーツプランを推進し、特に平成六年のインターハイや平成十二年の二〇〇〇年国体に向けて優秀選手の育成を進めてきました。また、豊かな花と緑の中に高い機能と文化性を備えた総合運動公園の建設に着手しました。

### 社会福祉の充実

ボランティアセンターの人的基盤強化など、ボランティア施策を一層充実するとともに、地域総合福祉を实践する活動グループへの助成を大幅に拡大しました。

高齢者に対する施策としては、富山県いきいき長寿財団を設立し、高齢者の生きがいと健康づくりを積極的に推進するほか、新たに在宅ねたきり高齢者等福祉金制度を創設し、デイ・サービス事業の拡充を図るなど、在宅福祉を充実しました。

障害のある方々に対する施策としては、身体障害者通所授産施設などの建設に対し助成するとともに、ふるさと養護学校の校舎の増築やとなみ養護学校の屋内プールの設置などの整備をしました。

児童や母子の福祉については、国際児童年制定十周年記念事業などを行いました。

### 生涯学習の推進

学習情報のネットワーク化や講座の拡充など、富山県民生涯学習カレッジの充実に努め、生涯学習の総合的な推進を図りました。富山県立大学については、優れた教員を確保するとともに、講義棟など施設の整備を進めたほか、広報活動を積極的にを行い、意欲あふれる学生の受け入れに向けて万全を尽くしました。



第1回県民カレッジフェスティバル10/2,3



いきいき長寿財団設立 7/11



児童国際交流キャンプ 8/16



全国綱引き大会 10/7

## 主なできごと

- 12月 定例県議会 (16日)
- 8月 5日 世界人権宣言40周年記念講演会 (9日)
- 15日 いきいき富山冬の旅観光キャンペーンオープニング
- 18日 近代美術館・わたしたちの壁画展 (1月29日)
- 22日 第6回富山県高等学校生徒海外派遣
- 1月 5日 県立大学起工式
- 27日 コロンブス計画第5回ティーチン省資源・省エネルギー運動富山県民会議
- 2月 1日 雪のシンフォニー
- 27日 雪のファンタジーコンサート
- 28日 第26回全国中学校スキー大会 (9日)
- 4日 近代美術館・岡田謙三展開会式 (3月31日)
- 5日 第55回国民体育大会準備委員会第1回常任委員会
- 14日 '89ゴンドラ雪の祭典
- 19日 教育委員会制度発足40周年記念式
- 20日 富山県コロンブス計画シンポジウム
- 25日 2月定例県議会 (3月23日)
- 28日 県営ほ場整備事業相木地区竣工式
- 1日 とやまうらおいシンポジウム
- 18日 富山空港ジェット化5周年記念式典
- 3日 富山県コロンブス計画第6回ティーチン
- 19日 ズームアップとやま写真展 (21日)
- 24日 富山地域職業訓練センター落成式
- 28日 富山県厚生年金休暇センター開所式
- 1日 朝日小川トンネル開通式
- 3日 とやま名誉大使称号授与式
- 4日 特産王国とやまチューリップキャンペーン (7日)
- 8日 TOYAMA NOW in原宿 '89 (9日)
- 4日 富山国際大学起工式
- 7日 近代美術館・ローマ発大型銅版画への挑戦 (5月21日)
- 8日 空港スポーツ緑地開園式

## 文化の県づくり

富山国際青年演劇祭や各種芸術文化活動に対し助成するなど、芸術観覧機会の増大や創作活動の支援に努めてきました。立山博物館については、展示、映像ソフトの制作を行うなど、諸準備を進めました。新川文化ホールの基本構想の検討も進めました。

## 若者と婦人の力を社会に

青年をアメリカ合衆国及びメキシコへ、婦人はアメリカ合衆国及びカナダへ派遣し、青少年の健全育成・見聞を広める施策を行いました。



富山国際青年演劇祭 7/31~8/6



前田常作展(県立近代美術館) 5/26~7/16

# 魅力ある郷土づくり

## 快適な暮らしの実現

生活環境の保全を図り、公害の監視に努めたほか、環境情報管理システムの整備などを進めました。また、自然公園内の公共トイレを計画的に改善するとともに、市町村に対する助成制度を設けるなど、快適な公共トイレの整備に努めました。

また、グリーンプランに基づいて花と緑の県づくりを進め、県民緑花カレッジを開設したほか、植物公園基本構想、全県域公園化構想の策定に取り組みました。消費税の導入にあたり、消費税ダイヤルの設置や物価モニターの倍増、監視の強化などの対策を講じました。

## 魅力ある地域づくり

全国的にも魅力ある総合保養地域の整備に向けて、立山山麓の一体的整備を進めるとともに、県西部において家族旅行村の実施設計等に着手しました。



とやまフラワーアート'89(4/29~5/1)

雪対策としては、総合雪対策基本計画に基づき、雪を活かした公園づくり、雪に親しむイベントの開催など、施策の総合的展開を図りました。水資源の活用については、「水の王国とやま」づくりを進めるため、二十一世紀水ビジョンの策定に取り組んだほか、海洋の開発利用については、二十一世紀海ビジョンの策定、新湊地区マリナ調査や伏木ポートルネッサンス21調査を進めました。また、海洋利用の象徴として、海王丸の受け入れのための諸準備を進めました。

## 生活基盤の充実

下水道事業については、神通川左岸流域下水道事業、農村下水道の積極的な整備や合併処理浄化槽の普及促進を図るとともに、長期的展望に立つての全県域下水道化構想に取り組みました。

## 総合交通体系の整備

北陸新幹線については、高崎・軽井沢間の本格着工と加越トンネルの難工事部分が着手されました。東海北陸自動車道については、福光・莊川間が整備計画に組み入れられ、能越自動車道については、高岡・小矢部間の本格的な建設が進められました。

また、富山空港については、今年七月から一日六便に増便されるとともに、駐車場や照明施設の整備などを進めました。伏木富山港についても伏木外港の建設に着手し、整備拡充を図りました。

## 国際化時代への対応

中国遼寧省との友好県省締結五周年を迎え、友好代表団の相互派遣や遼寧省文物展の開催などの記念事業を実施し、両県省の交流を一層深めました。また、アメリカ合衆国のオレゴン州との友好提携に向けて交流を進めました。



遼寧省友好提携5周年記念植樹 5/10



新幹線安全祈願祭 8/18



緑化フェスティバル 6/3



海王丸記念財団設立 7/12

- 10 県展(16日)
- 10 富山県コンプレックス計画第7回ティーチイン
- 13 緑花推進県民会議
- 13 第1回富山県立大学協議会
- 15 財団法人富山県いきいき長寿財団設立発起人会
- 15 6月定例県議会(27日)
- 16 第1回イベント懇話会
- 22 県政モニター委嘱状交付式・会議
- 22 とやまトレッドフェア'89開会式
- 24 働く女性のためのミニフォーラム
- 24 県民スポーツ大学校開校式
- 25 富山県清掃美化大会
- 30 第10回富山県婦人大学校開校式
- 10 遼寧省文物展(31日)
- 10 第2回イベント懇話会
- 11 富山県いきいき長寿財団設立総会および記念式典

- 18 立山自然保護センター新装展示更新竣工式
- 18 立山高原ホテル増改築竣工式
- 20 称名滝滝見台竣工式
- 20 近代美術館・第4回現代芸術祭オープニング(8月27日)
- 22 富山空港増便就航記念式典
- 25 富山県がん対策推進本部会議
- 26 富山県産業創造センター起工式
- 26 とやま名誉大使第2回称号授与式

- 4 いいき富山観光キャンペーン'89オープニングセレモニー
- 9 婦人週間のつどい
- 13 県道高岡環状線二上大橋開通式
- 14 富山県総合情報センター設立総会
- 15 科学技術フォーラム
- 15 富山県がん対策推進本部会議
- 21 「国際児童年」10周年記念フォーラム
- 21 県土美化推進県民会議総会
- 25 富山県立砺波学園竣工式
- 26 県民緑花カレッジ開講記念講演会
- 29 とやまフラワーアート'89(5月1日)
- 3 '89立山山麓グリーンドキュメント(7日)
- 9 遼寧省友好代表団表敬「とやま賞」贈呈式
- 10 第40回富山県植樹祭
- 12 県肉用牛センター竣工・開所式
- 14 第27回富山県身体障害者体育大会
- 15 知事のまちなまり(黒部市)
- 16 消費者問題国民会議富山大会
- 17 第55回国民体育大会準備委員会第2回常任委員会
- 17 第1回富山県人材確保対策本部会議
- 23 富山県産業構造研究会顧問会議
- 26 高岡ろう学校落成記念式典
- 1 近代美術館・前田常作展(7月16日)
- 2 高岡法科大学開学式典
- 2 知事のまちなまり(平村・上平村)
- 3 緑花フェスティバル(4日)
- 3 第13回県民レクリエーション大会
- 4 国体準備委員会総会
- 6 県営大長谷第四発電所
- 7 広域基幹道福線起工式

# 活力ある産業づくり

## 技術立県をめざして

工業技術センター・富山研究所の移転改築が完了したほか、林業技術センター・林業試験場も完成しました。また、情報・デザイン産業、自然科学研究所など産業の頭脳部門の集積を図るため、富山県総合情報センターに出資するとともに、業務団地等の整備を進めました。

## 農林水産業の振興

農地の流動化や地域ぐるみの営農体制を進めるとともに、バイオテクノロジーを応用した技術開発に取り組みなど、コストの低減や高付加価値化を進めました。畜産については、肉用牛改良増殖センターがオープンしたほか畜産市場の統合や畜産団地の育成を進めました。

農林水産物や工芸品など優れた特産物の振興と普及を図り、特産王国づくりを推進するとともに、特産品の開発、生産の振興、販路の拡大に努めました。

## 工業の振興

富山インターナショナル・デザインセンターを充実したほか、インターデザインセミナー'89富山の開催など、県内企業のデザイン開発力を育成しました。また、富山県産業創造センターの建設に着手しました。

中小企業の振興については、中小企業国際経営・技術シンポジウムや異業種交流サミットを開催するなど、中小企業の国際化、融合化を進めました。

## 第三次産業の振興

商業サービス振興ビジョンに基づき商店街の近代

化やイベントの実施に助成するなど、商業、サービスの活性化を図りました。

イベントに関する産業の振興では、富山国際コンベンションセンターの支援を強化するとともに、特産品の販路拡大の拠点となる施設についても調査研究を進めました。

また、観光の振興については、いきいき富山観光キャンペーンを引き続き実施するとともに、多様化する観光需要に対応した観光振興計画の策定に取り組みました。

## 雇用の安定

Uターン促進のため、富山県人材確保対策本部を設置し、情報提供、就職相談等を積極的に行うなど、広く人材の確保を図りました。また、職業能力開発については、富山職業能力開発カレッジの整備充実を図るとともに、新時代のニーズに対応した職業能力開発計画について調査研究を進めました。

## 施策の実施のために

がん対策を推進するため、厚生部、県立中央病院等の組織を整備したほか、二〇〇〇年国体準備室、総合運動公園準備室、博覧会準備室を設置しました。博覧会については、平成四年の開催に向けての準備をしました。また、県内の地域づくり施策を広く紹介するとともに、とやま名誉大使の設置や関東地区を対象にしたテレビ広報の実施など県内外で積極的なイメージアップ施策を展開しました。

あり方を考える「富山県コンプス計画」を進め、全県から広くイベントのシナリオを募集しました。



肉用牛改良増殖センター竣工 5/12



インターデザインセミナー'89富山 10/1~16



林業技術センター竣工 10/30



工業技術センター富山研究所 11/1



富山観光キャンペーン



TOYAMA NOW in 原宿 4/3~9

30	28	24	22	18	17	11	7	6	2	11	30	27	21	19	18	14	11	7	6	5	4	4	2	1	30	28	22	20	16	12	8	7	5	4	28	18	17	16	5	3	1	31	28										
伊吹山登山大会	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資	富山県総合情報センター出資

# 熱気球

FLY-UP TOYAMA

どんどん高く、舞い上がり  
小さくなうまくはくのまま  
行ってみないか 速い国  
大きな気球で夢飛行



撮影 池端 滋





量から質へ、  
規制から誘導へ、  
建築・住宅行政も  
新しい住まいづくり・街づくりに向け  
大きく変わろうとしています。

# 魅力ある住まいづくり 街づくりにも応援します。

レポーター・酒井淑子さん(富山市)

## イメージ一新、県営住宅

「より快適な生活へ」

酒井●モデル公営住宅を造っているようですが、ど

酒井●富山県の持ち家率は日本一ですね。

—— 去年の住宅統計調査によると、本県の持ち家率は八五・二％で、大きさ、部屋数ともに全国一です。

しかし一方で住宅に対する県民の意識調査では、「冬季に寒い」、「収納スペースが少なく」、「など県民の約半数が住宅に不満がある」としています。建築住宅課はこれらの意見を参考にして、ゆとりある快適な住宅の実現のためのお手伝いをしています。

◀モデル公営住宅として10月に完成した富山市・根塚県営住宅(パース)



ウンに、落雪型は上平村にそれぞれモデル住宅を造り、

実際に住んでいただいてその効果を確かめているところです。載雪型は、全体の工事費の三〇四％アップで手軽にできるのでぜひご利用下さい。雪に強い住宅づくりに関する研究は、富山県が全国で一番進んでいると自負しています。



▲根塚県営住宅外観



落雪型モデル住宅(上平村)

酒井●富山駅前などで再開発が進んでいます。が、どのようなことをしているのですか。

—— 既存の密集した老朽建物を取り除き、その跡地に高層ビル等を建てて土地の有効利用を図っています。

—— 昨年七月に「富山駅前景観会議」が設置され、民間の方々も加わって調和のとれた街づくりを目標に、県都の玄関にふさわしい景観形成に積極的に取り組んでいます。

—— 今、駅前では四つの街区で再開発事業が進められ、最後に残った須田街区についても今年中の着工を目標に計

## 街とトリートメントファッションの時代 街の顔づくりにも役立ちます。

## 雪国の屋根おろしに終止符！

酒井●豪雪になると屋根の雪おろしが大変です。雪おろしをしないで済む住宅があるといいんですけどね。

—— 雪に強い住宅としては、柱を太くして重い雪にも耐えられるようにする載雪型、屋根雪を融かす融雪型、屋根雪を自然に落とす落雪型の三種類があります。載雪型・融雪型は、富山市の月岡グリーンタ

画を進めています。

酒井●駅前はまだに「富山県の顔」ですから、長い目でみた景観づくりが必要なんです。



▲根塚県営住宅室内

のような住宅ですか。

—— 十月に完成した富山市の根塚県営住宅では、外観のデザインにも配慮し、魅力的な都市空間を創出するとともに、新婚世帯、高齢者・身体障害者等の多様なニーズに応じるため、2DKから3LDKまでの十三タイプの間取りを取揃えています。また、室内の段差をなくしたり、掘ゴタツや使いやすい浴槽、非常の場合の通報システムも組みこんで住みやすさや安全性にも配慮しています。

ふるさと  
みる記

# 福光町

三方を山に囲まれ、町の中央を小矢部川が流れる福光町。この豊かな自然に恵まれた田園地帯では、秋になるとキレイに皮がむかれた柿がいくつもつなされたヒモを幾重にも吊るした光景があちこちで見られる。

福光の干柿は大粒の三社柿で、年末の贈答用

## 甘くて大きな福光の干柿



▲今がいちばん忙しい仲筋英生さん



贈答用として人気の富山干柿

「渋みを抜くための重要なポイントは、やはり乾燥です。これも屋外での自然乾燥からガラスの温室内での乾燥へ、さらに最近では電気乾燥機を使うようになりました。それ以外の工程、例えば手もみなんかはやっぱり手間がかかりますよ。仲筋さんが都会からUターンした昭和五十年頃は、ガラスの温室が建ったり、電気皮むき機が導入されたりで、干柿生産農家にとっては大きな転機を迎えていた時期であった。」

「帰ってきてから十五年だけ、生産者の中ではいつも私が一番若い方だね。若い人が敬遠するか、なかなか生産量が増えませんが、市場では好評で、もつとたくさん欲しいって言われとるんだけどね。大変おいしいと評判な福光の干柿は、年末の贈答用として十二月いっぱいまで販売されている。」

小矢部川の上流は、日本で砥石が採れる唯一の場所。福光では、明治の初めからこの砥石を



▲水口秀治さん

使った盃や装飾品が作られている。その色彩は、黄、紅、紫、白など多種多様で、中国玉に優る美しさと硬度を有している。

「この仕事は石を削ると同時に、自分の手も削っているようなものです」と水口秀治さん。手のひらはどこどころ血がにじんでいる。ろくろのような機械で原石を回し、水と砂で削っていくため、手を削ることも多々あるそうだ。

「作り始めて八年ですけれども、盃はなんとか見れるようになってきました。香炉やくい呑みは深みがあるから均一の厚さにするのは難しいですね。親父が言うには、石の特性によって若干厚めにしたり、薄めにしたりするものがあるらしいけど、まだそこまではわかりませんね。」水口家が砥石工を製作するようになって、秀治



### 福光町の概要

人口 22,187人(10月1日現在、県人口統計調査より)  
面積 167.74平方キロメートル

医王山のふもと、小矢部川が流れる豊かな田園地帯で、版画家・棟方志功が創作の日々を送った町。愛染苑や光徳寺には当時の作品が多数所蔵されている。

また、木製バットや米菓の生産でも有名。

ろなことがあったけど、生産量はこの六十年間ほとんど減り続けとるわ。前は一日に百疋もの注文があつてお祝いした時もあるがだけど、今じゃ一日一人も来ればいい方だね。そう言えは、最近麻が使われるのは神社の装束、幕地、のれん、獅子舞いのかやくらいしかない。

麻の茎繊維を手でさいて一本一本つなぎ合わせて糸を作り、伝統的技法で手織りされているのは福光と奈良だけ。「麻も弱くなってきたね。昔は同じ太さなら鉄より強いって言われとったんだけど」と舟岡さん。

「この辺りでは糸を紡ぐ人が三千人、布を織る人が十人しかおらんようになった。それもほとんどが七十から八十歳の人で、後継者はだれもおらんわ。みんな趣味とか生きがいでやってらるからね。」量産できない福光麻布は、平成二年十一月今上天皇即位の礼の古裝束用に、今から織り始められている。

手を削って石を削る  
砥石細工

## 宮中の御用布 福光麻布

「前は日本中のどこでも麻織物を作つたんだけど、今ではほとんどなくなってしまつたね。」と語るの、福光で麻布商を営む舟岡喜一郎さ



▲舟岡喜一郎さんと奥様

ん。現在日本に残っている麻布産地は、新潟、能登、滋賀、奈良、鹿児島と福光の六ヶ所しかない。中でも福光の麻布は品位優秀で、昭和三年の昭和天皇御大典の礼には幕地二千反が御用達され、また平成元年の昭和天皇大葬の礼の際には二百四十反の福光麻布によって全部の古裝束が作られている。

「もう六十年余りこの商売やつとるからいろいろさんで四代目。砥石工に関しては百年以上の伝統がある。」

「学校を出てから東京でしばらくサラリーマンをしてたんですよ。帰ってきて砥石工を始めたころは涙が出るほどつらかったけど、きれいに作れるようになってからはだんだんおもしろくなってきましたね。なんと言つても自分一人では最初から最後まで作れませんからね。伝統の技を修得するため、水口さんは今も修業中だ。」

\*注1疋(布地)2反を単位として数えることば

# 小説「とくやま」

## 小説の舞台となった富山

富山市が舞台となったもので有名なのが宮本輝の「蜩川」。主人公の異性への関心を背景に北陸有数の商人だった父の失意のうちの死とその悲しみに耐える母の姿。それに富山の雪、桜、ホテルをイメージに加え、青春のはかなさを描いた作品です。

また、よく文学作品の舞台になっているのが風の盆のまち、八尾。越中おわらの郷愁をそそるような哀切の調べが登場人物やストーリーの展開に効果があるのか、五木寛之の「風の柩」や高橋治の「風の盆恋歌」などたくさん小説が生まれています。

立山・黒部の大自然も小説の舞台によく登場しま

す。黒四ダムを建設するときの苦闘を描いたドキュメンタリー小説、木本正治の「黒部の太陽」もその一つ。この作品は、三船敏郎、石原裕次郎らの出演で映画化され、全国民の話題となりました。

有峰を舞台にしたものでは、清い純愛ロマンス小説中河与一の「天の夕顔」が有名。大多和峠を越え、身を没する草をかきわけて有峰に入るシーンが感動的です。

また、白馬岳をはじめとする立山連峰の雄姿が描かれていた新田次郎の「強力伝」、黒百合の花と早百合の伝説が哀調をこめて語られている今東光の「お吟さま」はそれぞれ第三十四回、第三十六回の直木賞受賞作品です。

この他、自然では、魚津のしんきろうを扱ったものも多く、柴田錬三郎の「蜩気楼」や江戸川乱歩の「押絵と旅する男」などがあります。

また、庄川の小牧ダムとその流木権をめぐる流木事件もよく題材になっています。三島由起夫の「山の魂」をはじめ、高見順の「流木」、源氏鶏太の「青春の旅」などに登場しています。



県内を舞台にした小説の登場人物について富山県歌人連盟の米田憲三氏が果広報とやまの中で次のような考察をしています。

とやまの女性の場合

① 暗いイメージの女性で救いようのない不幸を背負っている。  
「七夕の町」（井上靖）の喫茶店の娘右頬に青い痣を持ち、死ぬことのみ思いつめている。  
「風の柩」（五木寛之）の理絵  
戦争中に残酷な行為をしていた父の過去を知ってしまいノイローゼになる。

② 非情で打算的。その激しさのために破滅を招く  
「けものみち」（松本清張）の民子  
支配人にそそのかされ、脳軟化症の

夫を焼殺する。最終的には、支配人にだまされガソリンをかけて殺される。

③ 母性的な温かき、豊かさを持つ。  
「二本刀土俵入り」（長谷川伸）のお鳥  
無一文で腹べこの相撲取りに酌婦の身ながらかんざし、巾着などを恵む。

総じて見ると①、②型が多く、③型は少ない。これらのことは、富山県の風土とか果人氣質についての作家の認識に関することだが、木崎と子の「青桐」のように富山を深く知る作家の作品に出てくる富山の女性は知的で暗さがない。作家の中には、富山イコール灰色・曇天・陰湿・打算などの既成観念がある人もいるようだ。

● 美しい自然と豊かな人情がいっぱいの富山県。富山を深く知ってもらい、いい作品をたくさん書いてもらいたいものです。

## 負けてはいけません 富山の作家

県内作家で有名なのが富山市出身の源氏鶏太。会社に勤めながら書いた「英語屋さん」で第二十五回の直木賞を受賞。その後、戦後のサラリーマン重役の姿をユーモアたっぷりに描いた「三等重役」他、「天下泰平」「大安吉日」など笑いとペーソスにあふれたサラリーマン小説で一世を風靡しました。

朝鮮戦争に衝撃を受けた知識人の苦悩を描いた「広場の孤独」で第二十六回の芥川賞を受賞したのが高岡市出身の堀田善衛。国際感覚と社会的洞察力の鋭い新しいタイプの作家として「歴史」「時間」「審判」など政治・社会小説を続々と発表しました。

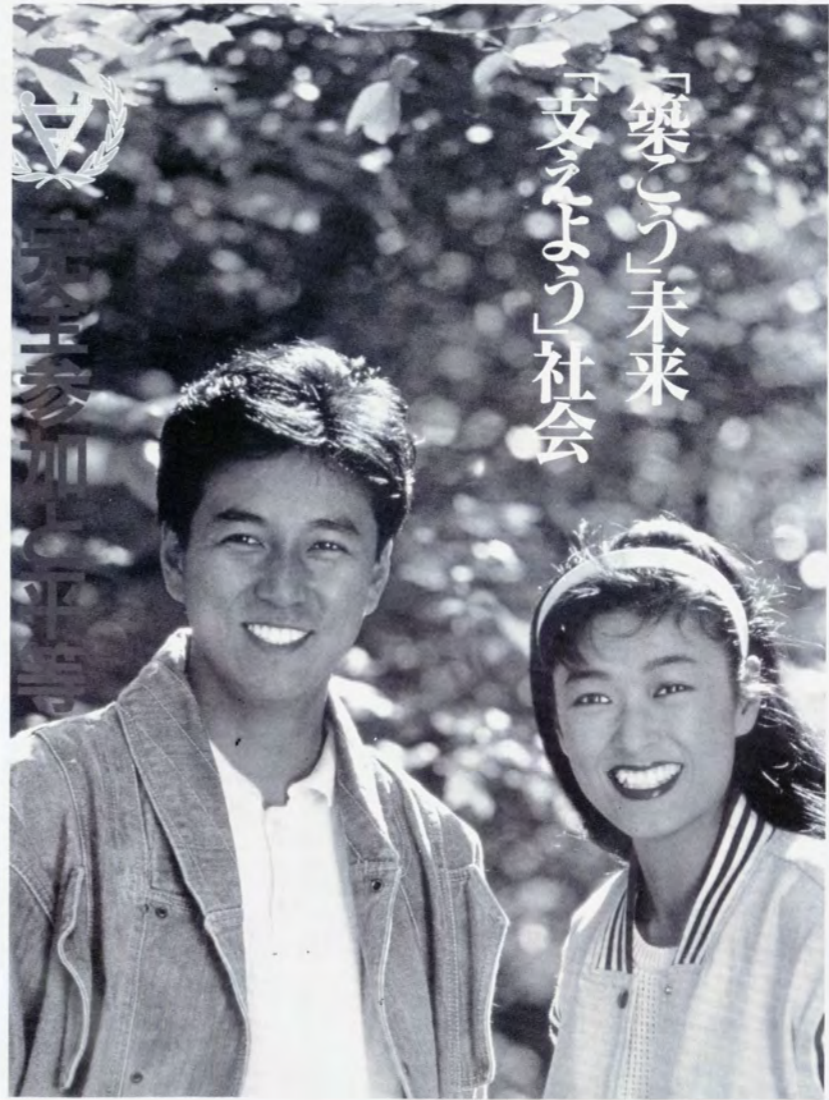
また、芥川賞といえば、高岡市ゆかりの木崎と子もその一人。乳がんがんに冒された年配の女性がひたすら病気に耐えていく様を描いた「青桐」で第九十二回の芥川賞を受賞しました。この他の著書には、水見を舞台にした「沈める寺」やエッセイ集「愛の聖母子」などがあります。

## 富山小説、登場人物はどおパターン

- 富山市
  - 中野重治 「むらぎも」
  - 泉鏡花 「黒百合」
  - 小寺菊子 「河原の対面」
  - 「哀しき祖母」
  - 「父の罪」
  - 「朱蠟燭の灯籠」
  - 「念仏の家」
- 野坂昭如 「好色の魂」
- 高橋辰雄 「梅原北明」
- 佐藤愛子 「花はくれない」
- 井上靖 「七夕の町」
- 坂口安吾 「富山の葉」
- 徳田秋声 「思ひ出るまま」
- 水芦光子 「反魂丹」
- 小島政二郎 「眼中の人」
- 飯島耕一 「冬の幻」
- 岩倉政治 「ハトムギの夏」
- 松本直秀 「原発死」
- 加藤藤子 「姿なき企業殺人」
- 林えり子 「愛せしこの身なれど」
- 源氏鶏太 「わが文壇的自叙伝」
- 宮本輝 「蜩川」
- 井伏鱒二 「漂流宇三郎」
- 井口文秀 「ユーリヤよ はばたけ」
- 福田晴司 「カッパ先生行状記」
- 川村久志 「土曜の夜の狼たち」
- 那須田稔 「ワシリイのむすこ」
- 高岡市
  - 井上靖 「七夕の町」
  - 稲垣一誠 「チベット」
  - 北沢喜代治 「日之島の女」
  - 森山啓 「乱れ雪」
  - 「自然の子」
  - 室生朝子 「父犀星の秘密」
  - 文兵衛 「天平のむらさき」
  - 室生犀星 「美しき水河」
  - 堀田善衛 「若き日の詩人たちの肖像」
  - 「乱世の文学者」
  - 「鶴のいた庭」
  - 「けものみち」
  - 「はぎ女事件」
  - 「蒼龍の系譜」
  - 「霊泉」
  - 「水郷」
- 新湊市
  - 松本清張 「疑惑」
- 魚津市
  - 江戸川乱歩 「押絵と旅する男」
  - 柴田錬三郎 「蜩気楼」
  - 山室静 「蜩気楼の町」
  - 海音寺潮五郎 「天と地と」
  - 笹沢左保 「能登の雨が呼んだ」
- 水見市
  - 杉本苑子 「燐の譜」
  - 川俣晃自 「般若心経」
  - 三島正一 「光る雨の中のふたり」
  - 横光利一 「紋章」
  - 岩倉政治 「大伴家持」
  - 「煙草」
  - 「かない歌うれしい歌」
- 杉本秀樹 「回遊魚」
- 多胡利雄 「くらの咲く頃」
- 能坂利雄 「氷見宗忠の面」
- 「北陸の剣豪」
- 「貴族の階段」
- 「杏っ子」
- 武田泰淳 「流雲の賦」
- 室生上元 「浮標燈」
- 村野尚吾 「石田三成」
- 尾崎士郎 「波の塔」
- 松本清張 「生き残り」
- 朝日町
  - 森鷗外 「山椒大夫」
  - 松谷みよ子 「センナじいとくま」
  - 泉鏡花 「尼僧殺し」
  - 「湯女の魂」
  - 入善町
    - 柏原兵三 「長い道」
  - 柏原兵三 「祝言」
  - 「浸蝕」
  - 佐多稲子 「水」
  - 宇奈月町
    - かつききんや 「まぼろしの木橋」
    - 志賀直直 「早春の旅」
    - 新田次郎 「山の鐘」
    - 吉村昭 「高熱隧道」
    - 「水の葬列」
    - 「黒部川」
  - 加藤薫
    - 滑川市
      - 西野辰吉 「鍋割月」
    - 上市町
      - 新田次郎 「劔岳・点の記」
      - 「チンネの裁き」
  - 立山町
    - 野村尚吾 「アルプスの見える庭」
    - 森村誠一 「恐怖の骨格」
    - 「日本アルプス殺人事件」
    - 「姿なき企業殺人」
    - 「黒部ルート殺人旅行」
  - 大山市
    - 中河与一 「天の夕顔」
  - 大沢野町
    - 大井冷光 「姉倉比売」
  - 婦中町
    - 新田次郎 「神通川」
    - 本田英郎 「神通川」
  - 八尾町
    - 長谷川伸 「一本力士俵入」
    - 五木寛之 「風の柩」
    - 西沢裕子 「風の盆」
    - 山本茂美 「あゝ野麦峠」
  - 小杉町
    - 野村胡堂 「不義士の子右門」
    - 須山ユキエ 「延段」
  - 福岡町
    - 泉鏡花 「義侠快血」
    - 小矢部市
      - 藤枝静男 「凶徒津田三蔵」
      - 泉鏡花 「星女郎」
      - 吉川英治 「新平家物語」
      - 北条誠一 「虹の設計」
      - 檀一雄 「曾義仲」
      - 柴田道子 「谷間の底から」
    - 砺波市
      - 稲垣一城 「チベット」
      - 「乱世」
      - 海音寺潮五郎 「天と地と」
      - 江夏美好 「下々の女」
      - 井村和清 「飛鳥へ、そしてまた見ぬ子へ」
  - 福野町
    - 岩倉政治 「空気がなくなる日」
    - 「新しき道義」
    - 「田螺のうた」
    - 「稲熱病」
    - 「草むらの語り」
    - 「村長日記」
    - 「無告の記」
    - 「冬を籠る村」
    - 「行者道宗」
  - 庄川町
    - 高見順 「流木」
    - 三島由起夫 「山の魂」
    - 井波町
      - 真仲彦 「無明」
      - 河東碧梧桐 「続三千里」
    - 福光町
      - 室生犀星 「医王山」
      - 平村
        - 室生犀星 「大槻伝蔵」
        - 勝尾金弥 「五箇山ぐらし」
      - 上平村
        - 菊村到 「くれなずむ五箇山」
        - 筆内幸子 「悲恋の五箇山流刑」
        - 高道正信 「五箇山哀話」
        - 源氏鶏太 「父祖の地の娘」
        - 岩倉政治 「行者道宗」

# 「障害者の日」のお知らせ

十二月九日は、「障害者の日」です。  
この日は、国民の一人ひとりが、心身に障害のある人を正しく理解し、積極的に支援の手を差し伸べることで障害者の社会参加を助長・促進し、障害者の「完全参加と平等」の実現を目指すために定められました。  
県民のみならず、この趣旨を正しく理解し、ご協力をお願いします。



「築こう」未来  
「支えよう」社会

12月9日は障害者の日。

コンロ  
ストーブ火災の  
防止



昨年十一月から今年二月までに発生した火災の四割は、コンロ、又はストーブによるもので、毎年火災原因の一位、二位を占めています。  
天ぷら油やストーブを使っているときは、その取扱いに十分注意し、火災予防に努めましょう。

# 募集 私のまち写真コンテスト

ちよっぴり自慢してもいいかな

主題 ● モニュメント・彫刻のある私の「まち」「ひろば」「はし」

● 出会いの「まちかど」

● 私の好きな「まちなみ」「街路（みち）」

部門 ● 一般の部

● 学生の部（高校生以下）

応募 ● サイズ白黒・カラープリン  
トでサービスタから四ツ切り  
まで

● 作品の裏に、題名・撮映場所・年月日・氏名・年齢・性別・住所・電話番号・職業・応募部門を明記して下さい。

送り先 〒一一三 東京都文京区本郷  
二の十七の三号

広和レジデンス社

日本交通計画協会内

第七回「私のまち写真コンテスト」事務局まで

締切 平成元年十二月末日

※詳しくは、県庁都市計画課まで



## 人権週間 講演と映画の会

● 演題 「二つの選択」

— 色彩ある社会VS脱色された社会 —

● 講師 静岡県立大学講師 石川 准

● 映画 「熱き選択」

■ 富山会場 十二月七日(木)

十三時三十分

■ 高岡会場 十二月八日(金)

高志会館カルチャーホール

十三時三十分

高岡文化ホール小ホール

● 入場料 無料

※詳しくは、県庁県民生活課まで



# 県政の動き

10月11日～11月10日

10月11日 県立大学シンボルマーク入選者表彰式  
富山県スポーツ奨励賞授与式



10月12日 農業技術センター創立100年記念式典  
第19回明日を拓く青年の翼、第9回豊かな郷土を拓く婦人の翼結団社行式

10月14日 第6回特産王国とやまフェスティバル(～15日)

10月16日 第37回富山県下消防署消防操法大会

10月19日 第40回富山県勤労者美術展(～22日)

10月20日 広域基幹林道牛岳線竣工式

10月21日 第1回富山県ボランティア大会



10月24日 広域基幹林道牛首線竣工式

10月26日 中部縦貫自動車道安房トンネル起工式  
県営ほ場整備事業般若地区完工式

10月27日 人材確保対策本部会議  
高山辰雄展開会式

10月29日 第7回富山県駅伝競争大会



10月31日 林業技術センター林業試験場・林業普及センター竣工式  
第2回博覧会企画委員会

11月1日 富山県工業技術センター機械電子研究所竣工式  
第4回イベント懇話会

11月2日 富山県功労表彰式



11月6日 教育功労者等表彰式  
一部部長辞令交付式  
布施川ダム定礎式

11月7日 第29回富山県デザイン展(～9日)

11月10日 '89とやま北方領土展(～15日)

## THE 100 ARCHITECTURE IN TOYAMA 「百」の共感 「富山の建築百選」

富山の建築百選実行委員会では、現在富山の建築百選を掲載した記念誌の刊行を準備しています。予約を希望される方ははがきで下記まで。

《仕様》●判型250×250●頁数180頁●価格3千円  
〒930 富山市愛宕町2-4 富山県建築会館内  
建築百選実行委員会



記念誌予約受け付け

### 平成2年 1月街頭献血日程

日	曜	場	所	時	間
6	土	高岡駅前		10:00	～15:30
		富山西武前		10:00	～16:00
7	日	富山西武前		10:00	～16:00
8	月	砺波市役所前		10:00	～15:30
11	木	新湊市役所前		10:00	～15:30
15	月	高岡駅前		10:00	～15:30
		富山西武前		10:00	～16:00
19	金	小矢部市役所前		10:00	～15:30
20	土	魚津市「サンプラザ」前		10:00	～15:30
21	日	富山市中央通り		10:00	～16:00
25	木	福光町役場前		10:00	～15:30
27	土	高岡駅前		10:00	～15:30
		富山駅前		10:00	～16:00
28	日	高岡駅前		10:00	～15:30
29	月	福野町役場前		10:00	～15:30

■演題 「生物学の進歩と人間の未来」

■講師 お茶の水女子大学院研究科 長 太田次郎

●日時 十二月八日(金) 十八時～十九時三十分

●場所 教育文化会館集会所

●受講料 無料(整理券が必要)

※詳しくは、県民カレッジまで  
0764・41・8665

# X

## 県民カレッジ ビデオ講座

### 特別公開講演会

●年末・年始の交通安全県民運動

十二月十一日から平成二年一月十日までの一カ月間、年末・年始の交通安全県民運動が実施されます。

期間中は、「北陸路 無事故でつなごう ゆく年くる年」をスローガンに、

一、飲酒・暴走運転の防止  
二、降雪時の交通事故防止  
三、高齢者の交通事故防止

の三点を重点として、運動が展開されます。お互いに交通ルールとマナーを守り、事故のない明るい年末・年始を過ごしましょう。

## 無事故でつなごう ゆく年くる年

演題 「環境問題と暮らし」  
講師 神戸学院大学教授 藤井正美  
日時 十二月八日(金) 十三時三十分～十五時三十分  
場所 富山市安住町七十八 第一生命ビル八階  
入場料 無料  
※詳しくは、富山県消費生活センター(0764・32・2949)まで

## 消費者スクール公開講座

富山市 五百羅漢  
第11回ガールスカウト・

ブラウニー・ラリー

エッセイ 安孫子素雄

ひと 牧野孝喜

クロスアツプ

①工業技術センター

機械電子研究所

②林業技術センター

試験場と普及センター

③青年・婦人の翼

④特産王国フェスティバル

特集 県政この一年

PIN UP TOYAMA

県庁探訪 建築住宅課

ふるさとみてある記 福光町

とやまアラカルト

県からのお知らせ

編集後記



# 明治・棟梁の夢建築

## 自動車博物館「明治記念館」(水島村役場)

明治中期/設計・不詳

とやま心象 20  
「富山の建築百選」をみる



この建築、元来は砺波市油田に建てられた野松医院という病院建築である。昭和十一年に五キロ程離れた水島村に役場の建物として用いる為に移築された。戦後は水島村公民館として用いられて来たが、昭和五十七年にこの自動車博物館に再び移築、保存されるに至ったのである。

これも擬洋風建築で、大工棟梁が伝統的な和洋技術でもって西洋建築を創ろうとする時の典型的なスタイルのひとつを示している。つまり、左右対称の寄棟二階建、箱形の外形にコロニアル風下見板張(本物はクラップ・ボードという)に上げ下げ窓、正面にポーチを付けその二階をヴェランダとし、切妻屋根を載せ、正面に破風(ベディメントという)を見せる。ポーチ、ヴェランダ奥のドアやその上部につけた半円形の明かり取り(タンパンと呼ばれる)、軒の四角い鋸歯状の意匠(デンティルと呼ぶ)など西洋古代やルネサンスに由来するデザインを用いている。けれど全体のプロポーションは和風のものだし、細部の西洋デザインも、例えば、正面破風が決してギリシア式のベディメントではなく、あくまで和風の切妻である様に、和風の形が混入して不思議な魅力を醸し出している。

医師は明治時代、特にこのような郡部にあつては、新しい西洋知識文化を体現する人として尊敬された。西洋医学そのものが畏敬の対象であった。その様な新しいものに対する明治富山の棟梁の夢が感じられる建築である。数奇といつて良い運命を辿って保存されたことを喜びたい。

解説/竺 覚暁  
(工学博士金沢工業大学教授)  
写真/風間耕司  
(日本写真家協会会員)



### みなさんの相談窓口

**県政については**

県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)  
☎(0764)31-4111代  
31-3131(県民電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)  
☎(0766)21-9411代

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)  
☎(0765)24-5311代

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)  
☎(0763)33-5151代

**消費生活については**

消費生活センター  
富山市安住町7-18  
安住町第一生命ビル内  
(一般相談は)  
☎(0764)32-9233  
(金融相談は)  
☎(0764)33-3252

消費生活センター高岡支所  
高岡市本丸町7-1  
本丸会館内  
☎(0766)25-2777

**交通事故については**

富山県交通事故相談所東別館1階  
☎(0764)31-4111内759

**相談110番**  
家庭問題・悪質商法・寛  
せい剤など、どんな相談  
にも応じます。  
☎(0764)42-0110

**シルバー110番**  
高齢者や家族の心配ごと、  
悩みごとに富山県高齢者  
総合相談センター  
富山市舟橋南町5-14  
社会福祉会館内  
☎(0764)41-4110

**60 TV** テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30  
「こんにちは富山県です」  
12/3 富山の国際化の現状  
12/10 とやま商人道を求めて  
12/17 各地にみる特産品づくり  
12/24 とやまの歌謡曲を訪ねて  
12/31 平成元年、今年的一年
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30  
「110万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

**RADIO** ラジオ広報

- FMとやま  
「ふれあいホットライン」  
県内各地からホットな話題をク  
リアなサウンドでおとどけしま  
す。  
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

**NEWS PAPER** 新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日  
毎月第2土曜日  
「県からのお知らせ」  
毎月最終土曜日  
「みんなの県政」  
●朝日、毎日  
毎月第2、最終土曜日  
「県からのお知らせ」

### 編集後記

★福光の麻布商舟岡喜一郎さんは八十五歳。奥さんと一緒に取材に赴いていただきました。結婚して六十二年だけあって、まさに一心同体。麻の話しにしても、口数の少ない御主人を奥さんが補足、写真を撮る時も御主人の少し後で楚々とたたずんでいる。いい奥さんですね。うらやましい。(M)

★とあるよく晴れた日、立山連峰をポーツとみていたら、山々がこちらを見て笑っています。「ハハハ、僕たちに挑戦したかったらいつでも来なさい。かわいがつてやるから」と。今までこれでもかと言わんばかりに転んでいたスキー。今シーズンこそうまくなるんだい。(T)

★木々の小枝にまばらに残された赤く熟れた柿。カラスへのプレゼントかな? 何ともいえずかわいい。でも、木枯が吹いてぼちやうと落ちる日も近いのね。(N)



# いきいき富山 冬の旅観光キャンペーン

あつたかい  
幸ても、  
召ーあがれ



じつとしていられない  
あなたなら

ロマンチックな  
あなたなら

グルメの  
あなたなら

- 2月24日 極楽坂スキーフェスティバル (大山町 極楽坂スキー場)
- 2月17日 いきいき富山自作ソリ競技大会 (大山町 ゴンドラスキー場)
- 2月10日～3月11日 USHIODAKE スノーフェスタ'90 (山田村 牛岳スキー場)
- 2月4日 ウオーキングスキーinみやの (黒部市 宮野運動公園)
- 1月28日 夢の平スキーフェスティバル (砺波市 夢の平スキー場)

- 2月3日～12日 とやまスノーヒル'90 (富山市 城址公園)
- 2月3日～4日 宇奈月温泉雪のカーニバル (宇奈月温泉)
- 2月4日 雪のファンタジーコンサート (富山県民会館)
- 2月17日～18日 ゴンドラ雪の祭典 (大山町 ゴンドラスキー場)



- 2月20日まで 日本海グルメフェスティバル (氷見市 瀬浦海岸沿いの旅館)
- 1月13日～15日 いきいき富山日本海なべ祭り (高岡駅横特設会場)
- 高岡フードフォーラム (ユニー高岡店)
- 1月28日 風味大全 (福光町)
- 2月10日～12日 利賀そば祭り'90 (利賀村 村営グラウンド)
- 2月17日～18日 こきりこ味まつり (平村 こきりこ会館)